



☆ **THAT'S TUNING** ☆

STEP 1

ノーマルパワーにスパイスを効かせた
ビギナーコース 300ps仕様
チューニング費 約¥140,000

7M-GTEUのベースは先にも述べたとうり、3ℓ ツインカム4バルブユニットだ。したがって、そのハイキャパシティーのビッグトルクには満足するものの、ターボフィーリングにいまいち欠けるといふオーナーには、このステップ1チューニングをオススメ。

ターボチューニングで重要視されるマフラーはもちろんスポーツタイプだ。ソアラ/スープラの7M-GTEU用は各メーカーから多数発売されているので、パワー、音量など自分のフィーリングに合ったタイプをチョイスすればいい。

過給圧はVVCにより0.75kg/cmにセットする。この程度の過給圧であれば燃料系はノーマルのままで十分対処できるので追加インジェクター、Fコンは必要ない。

7M-GTEUの場合、これだけで300psに達するというから、そのポテンシャルの高さも理解できるだろう。

300psとなればMAXスピードも230km/hオーバーだ。180km/hで作動する燃料カットリミッターはHKSのSLD(スピードリミッターディフェンサー)で解除することができる。

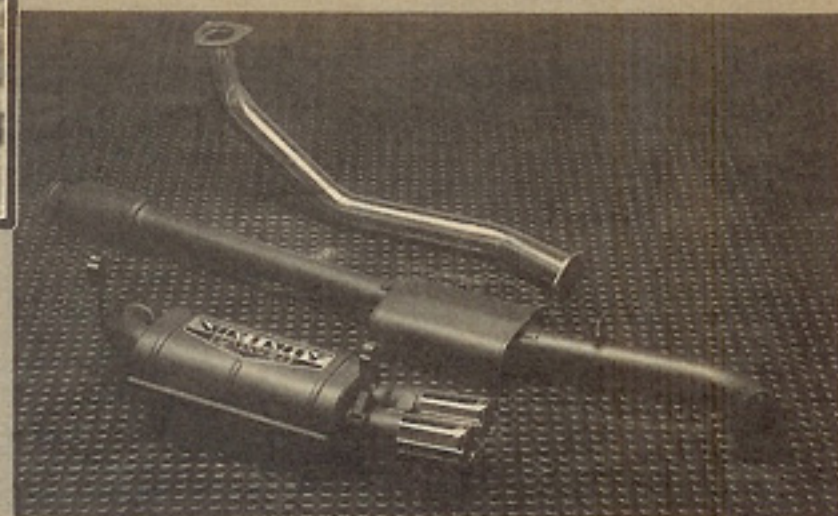
ステップ1において、あくまでもノーマル状態をベースにパワーアップさせてやったが、ノーマルタービンCT26を最大限に引き出してやるのがステップ2だ。ビッグタービンによるパワー重視ではなく、ノーマルのパワーフィールをスケールアップしたフラットな盛り上がりを見せるエンジンが上がる。

ステップ1をベースに過給圧を0.9~1.0kg/cmにアップ。過給圧を1.0kg/cm近くにセットする場合、安全性のために視認性のいい、ピークホールドタイプのブースト計を取り付けたい。そして、過給圧オーバーで作動するリミッターを解除するため、HKS・FCD(フューエルカットディフェンサー)を取り付けなければならない。

燃料系はノーマルコンピューターをHKS・Fコンで補正し、追加インジェクターはHKS・AIC、あるいはトラスト・レビック+380cc/分×2というセッティングだ。

以上のチューニングで7M-GTEUは360psを絞り出し、その中速域はソアラ/スープラのビッグボディを軽々と引っ張ってくれる。ただ、高速域となればタービンの容量不足からくるパンチ不足はいなめない。

この360ps仕様となればサスペンション系もそれなりにチューニングしたい。強化タイプのショック、コイルスプリング。そして、エアサス仕様ならブリッツのSTSでエンジンパワーに負けないスポーツドライビングを楽しむことができる。



76φ ビクトリーパワーマフラー ¥84,000

STEP 2

ノーマルタービンを最大限に引き出す
ファインチューニング 360ps仕様
チューニング費 約¥500,000 (STEP 1+2)

HKS SLD、FCD 各¥12,800



トラスト レビック 3本用¥79,000 4、6本用¥99,000



トラスト70φ マフラー ¥84,000 80φ マフラー ¥95,000